

2025年農林業センサス結果の概要（青森県）（概数値） (令和7年2月1日現在)

農林業センサスは、我が国の農林業の生産構造や就業構造、農山村地域における土地資源など農林業・農山村の基本構造の実態とその変化を明らかにし、農林業施策の企画・立案・推進のための基礎資料となる統計を作成し、提供することを目的に、5年ごとに行う調査です。

令和7年11月28日に概数値が公表されましたので、青森県の状況をお知らせします。

1 農業経営体数

個人経営体は20.8%減少
法人経営体は 2.6%減少

青森県の農業経営体数は、2万3,127経営体で、5年前に比べ5,895経営体（20.3%）減少しました。

このうち、個人経営体は2万2,355経営体、団体経営体は772経営体となり、5年前に比べそれぞれ5,877経営体（20.8%）、18経営体（2.3%）減少しました。

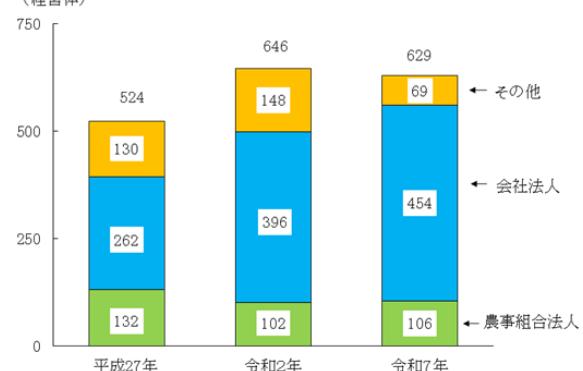
団体経営体のうち法人経営体は629経営体で、5年前に比べ17経営体（2.6%）減少しました。

表 農業経営体数(青森県) 単位:経営体

区分	農業 経営体 ①+②	個人 経営体 ①	団体 経営体 ②	法人 経営体
	①	②	法人 経営体	
平成27年	35,914	35,037	877	524
令和2年	29,022	28,232	790	646
令和7年	23,127	22,355	772	629

増減率（%）	△ 19.2	△ 19.4	△ 9.9	23.3
	△ 20.3	△ 20.8	△ 2.3	△ 2.6
令和2年/平成27年				
令和7年/令和2年				

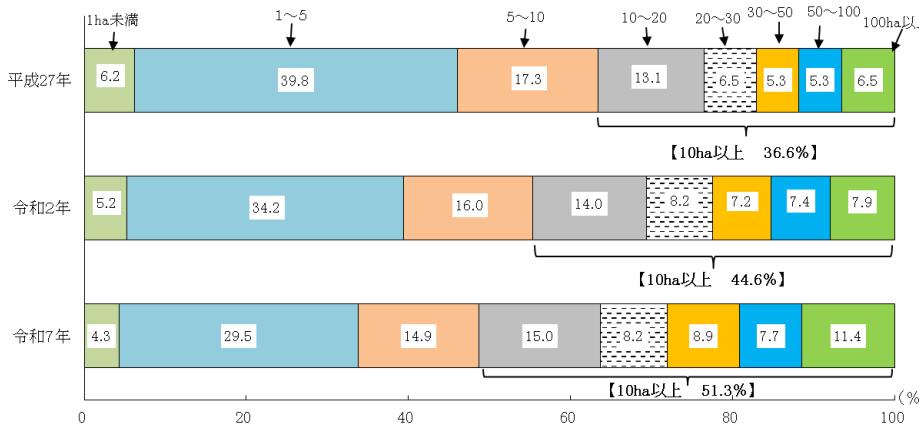
図1 法人化している農業経営体数(青森県)



2 経営耕地面積の集積割合

青森県の農業経営体の経営耕地面積規模別に構成割合をみると、経営耕地面積が10ha以上ある農業経営体が51.3%を占め、5年前に比べ6.7ポイント上昇しました。

図2 経営耕地面積規模別経営耕地面積割合(青森県)



詳細については
東北農政局ホームページをご覧ください。
<https://www.maff.go.jp/tohoku/stinfo/kekka/>

